

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成23年1月27日(2011.1.27)

【公開番号】特開2009-166326(P2009-166326A)

【公開日】平成21年7月30日(2009.7.30)

【年通号数】公開・登録公報2009-030

【出願番号】特願2008-5951(P2008-5951)

【国際特許分類】

B 41 J 2/175 (2006.01)

【F I】

B 41 J 3/04 102Z

【手続補正書】

【提出日】平成22年12月2日(2010.12.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

内部に流体を収容する流体収容体を装着する装着部と、前記装着部に前記流体収容体が装着される場合、前記流体収容体に設けられた収容体側流体流通口と連通するホルダ側流体流通口を有する流体流通部材と、を備えた流体収容体ホルダにおいて、

前記流体流通部材は、固定端を支点として自由端側が弾性変形可能な片持ち梁状部と、前記ホルダ側流体流通口へ流体を供給可能な流体流通路とを有し、

前記ホルダ側流体流通口は、前記流体流通部材の自由端側に配置されることを特徴とする流体収容体ホルダ。

【請求項2】

請求項1に記載の流体収容体ホルダにおいて、

前記流体流通路は、前記流体流通部材の固定端側から自由端側まで形成される溝部と、前記溝部を被覆する被覆部材と、により形成されるとともに、前記流体流通路における自由端側には、前記ホルダ側流体流通口が設けられることを特徴とする流体収容体ホルダ。

【請求項3】

請求項1または2のうち何れか一項に記載の流体収容体ホルダにおいて、

前記流体流通部材は、前記流体収容体が装着される装着面側に延びるとともに前記ホルダ側流体流通口を有する筒部と、前記筒部を摺動させるガイド部と、を備えることを特徴とする流体収容体ホルダ。

【請求項4】

請求項1～3のうち何れか一項に記載の流体収容体ホルダにおいて、

前記流体収容体が装着される場合、前記流体収容体の取り出し方向への移動を規制する係止機構を備えたことを特徴とする流体収容体ホルダ。

【請求項5】

請求項1～4のうち何れか一項に記載の流体収容体ホルダにおいて、

前記流体収容体が前記流体収容体ホルダに装着される場合、前記流体流通部材は前記流体収容体内に流体を供給することを特徴とする流体収容体ホルダ。

【請求項6】

請求項1～5のうち何れか一項に記載の流体収容体ホルダにおいて、

前記流体収容体が前記流体収容体ホルダに装着される場合、前記流体流通部材は前記流

体収容体内から流体を導出することを特徴とする流体収容体ホルダ。

【請求項 7】

請求項 1 ~ 6 のうち何れか一項に記載の流体収容体ホルダにおいて、
前記流体流通部材は、弾性を有する板状部材から切り抜き形成されることを特徴とする
流体収容体ホルダ。

【請求項 8】

流体を噴射する流体噴射ヘッドと、請求項 1 ~ 請求項 7 のうち何れか一項に記載の流体
収容体ホルダとを備えたことを特徴とする流体噴射装置。